

ウォーキングクラブ7月定例会・鎌倉街道二村山から勅使池

実施日：2023.07.20



鎌倉街道の石碑の前で二村山の名所史跡のお話



峠地蔵堂前で切られ地蔵尊の話に耳を傾ける

今日の名古屋の最高気温は35℃、気象台から東海三県に梅雨明け宣言が出ました。

青空には真っ白な真綿の様な積乱雲が浮かび、昨日までの名古屋特有のムシムシ感の湿度は幾分下がり、西風が吹き抜けるそんな陽気になりました。

桜通線徳重駅の市バスターミナルに8:40に集合、男性6名、女性5名の参加になりました。

1番バス停から8:49に乗車し、藤田医科大学病院に9:05に下車しました。

あまりにも大きな医療施設と外来患者の多さに驚き、我々ウォーキングクラブの面々は場違いな雰囲気にならざるを得ず躊躇(ちゅうちよ)しました。

新人会員挨拶とスズメバチと暑さ対策の注意事項を聞いて全員意気軒昂にスタートです。

ロータリを周りアーチ状の南門を潜り抜け、立体駐車場を右に見てプレハブ小屋の横を通り過ぎ、薄い藪状の山道を辿ります。ところが、これが意外と深い藪漕ぎとなり、クモノ巣とやぶ蚊の波状攻撃に遭遇、無理をしてクラブ旗で払いながら幾らか進行したが、とてつもない人跡未踏の薄暗い森に迷い込み、這う這うの体で脱出しました。

小生は3月に下見をしており何ら問題ないと判断

していましたが、大チョンボです。参加者の方から叱咤されて息消沈。気を取り直して駐車場側の入り口から仕切り直して、無事鎌倉街道を辿り二村山の峠の鎌倉街道の石碑に至りました。

今回、郷土史に造詣の深い藤田ガイドの案内で鎌倉街道二村山を詳しく説明して頂き、改めて時空を超えて鎌倉時代に想いを繋ぐ事ができました。

源頼朝は京都に上る為に二村山で「よそに見しをさゝ(小笹)が上の白露をたもとかく二村の山」景色の良さを和歌に残しました。

「二村山」は歌枕ともなり、平安時代の頃から数多くの歌や紀行文の題材にされてきました。現在でも山頂から山麓にかけて、その長く風趣な歴史を物語る歌碑・石碑が夏草に隠れていました。

また、尾張名所図会にも記録が残されています。

この他、勅使池彰功碑は明治43年に建立された大きな碑文で、二村山北東に位置する溜池「勅使池」の沿革が漢文で記されています。

勅使池は豊明市内で最も大きな農業用溜池であり、伝承では1528年(大永8年)後奈良天皇の綸旨を携えて浄土宗玉松山祐福寺を訪れた左近衛中将経広という勅使の指揮の下に築造されたそうです。



大嘗祭悠紀の歌碑の前で和歌の解説



蝉時雨の中、古木の木陰でクールダウン



展望台からの全方位の眺望に時間を忘れる。



山座同定は猿投山なら間違いなし。

聖應寺飛地境内にある複数の地藏尊を納めた小堂がありました。3体の像を安置したものと、南隣に1体の像を安置した小堂があります。地藏堂の正面から見て左の地藏尊が峠地藏尊、中央の大柄な立像は「元文三年七月廿四日」(1738年)の銘を持ち、右の坐像には「明和三年七月」(1776年)の銘があります。小堂に納められているのは立像で、「享保七年正月吉日」(1722年)とあり。昭和時代中期にさしかかる頃まで間口2間奥行3間の朽ちかけた姿であったが、昭和36年に聖應寺第23世大法得禅和尚によりブロック建ての堂を建立しました。

メンバー全員が展望台に向かい小生は一人取り残されて、お堂の周りの手入れの行き届かない鬱蒼とした森は薄暗く、歴史を経た寂寞(せきばく)な小堂で首の無い地藏尊と対峙すれば、時間が静止した異空間の錯覚を覚えました。

展望台の足元には国土地理院の三等三角点「沓掛」P71.8がありました。展望台は4方の柱は鉄骨で、中央の折り返し階段は3階の鉄筋コンクリートの堅牢な構造です。まだ、メンテナンスも良くされており、塗装も綺麗でライトグリーンの展望台です。屋上展望台テラスの投影写真もリメイクされていて、写真と見比べて展望風景を同定するのも楽しみの一興です。

展望台のテラスの上部には4方向からのステンレスアーチの化粧梁がアクセントになっています。

ところで藤田ガイドの話によれば、50代を前にして、この展望台の建て替え工事の責任者として事前準備をしていたところ、平成元年梅雨の頃、名古屋を襲った局地的な集中豪雨に合い、天白川の野並を始め、南区港区の低地の床上浸水により住宅が甚大な被害を被り、復旧工事の為、職人の手配や資材の手配が思うように進まず、展望台建設工事が遅延し、役所との交渉や、社内と下請けの調整など大変苦労されたとの事です。

工期短縮とコスト削減のため色々工夫をし、急坂の作業道路には裏返しの古畳を番線で緊結して生コン車や、ポンプ車を山頂まで自走させる事もし

たそうです。この展望台は苦い経験と苦労が凝縮されており、竣工時の喜びはひとしおだったそうです。今この展望台テラスから眺める光景に感無量との事でした。

この話をお聞きし、小生も思い当たる事があり身につまされる思いをしました。

展望台テラスで眺望の良さと藤田ガイドの体験話に聞き惚れ、予定より時間を取り過ぎたが、次に真言宗「雲興寺」の小堂と豊明神社に寄り道をし、住宅地を抜けて県道R220を横切り地藏池の蓮の開花を眺め、勅使台団地街路樹の日影を求めながら勅使池に直行します。

勅使池白龍神社で水分補給の小休止です。みどりが丘公園の勅使池湖畔のウォーキングは、木陰のトンネルコースは幾らか涼しく感じました。管理事務所でトイレ休憩です。帰りは皆様のご意見により徳重駅まで市バス利用になりました。

徳重駅ターミナルビルの嘉門でランチタイムになり、男性4人は全員異義なく、海鮮丼ぶりとお煮を美味しく頂き。¥1,210/setでした。

ところで我が家に14時過ぎに帰宅しスマホ歩行計では、総歩行数10,600歩、歩行時間1:40、歩行距離7.4kmでした。



勅使池は土堰堤の耐震補強工事が終わり、満水状態でした。水面を渡る西風は幾らか涼しい！